



7 特別会計・事業会計予算の主な事業

 新規事業、 拡充事業 (事業名の頭に標記)

包括的支援事業 戦略6
 (介護保険特別会計) 7, 194万円
 (担当: 介護福祉課認定調査係)

高齢者が住み慣れた地域で長く安心して暮らしていけるよう、市内5か所にある「地域包括支援センター」において、保健師、主任ケアマネージャー、社会福祉士などの専門職員がそれぞれの専門性を生かし、総合的な相談や支援を行いました。

宮城県後期高齢者医療広域連合負担金
 (後期高齢者医療特別会計)
 8億421万円
 (担当: 健康推進課医療給付係)

75歳以上の高齢者を対象に、高齢者への安定的な医療を提供するため、関係機関で設立した宮城県後期高齢者医療広域連合の経費を負担しました。

簡易水道再編推進事業 3億1,681万円
 (簡易水道事業特別会計)
 (担当: 水道課施設係)

一迫・大川口・鶯沢簡易水道を統合し、災害に強い水道施設を構築するとともに、維持管理コストを縮減するための工事を行いました。

水道施設整備事業 2億1,757万円
 (水道事業会計、簡易水道事業特別会計)
 【H27年度への繰越額 4,900万円】
 (担当: 水道課施設係)

水道水の安定供給や災害時の備えを目的として、古くなった水道本管やその他の水道施設を交換・修理する工事を行いました。

水道施設改修事業 (水道事業会計)
 5億5,798万円
 (担当: 水道課施設係)

近年発生した河川水の水質悪化に伴う水道水の異臭対策として、築館地区の新田浄水場に生物活性炭処理による高度浄水処理施設を設置しました。



新田浄水場に設置した高度浄水処理施設



石綿セメント管更新事業 (水道事業会計、簡易水道事業特別会計) 5,422万円
 (担当: 水道課施設係)

安全な水道水を安定して供給するため、石綿セメント管を、丈夫な材質の新しい管へ交換する工事を行いました。

単独浄化槽切替助成事業 390万円
 (下水道事業特別会計、農業集落排水事業特別会計、合併処理浄化槽事業特別会計)
戦略3 (担当: 下水道課総務管理係)

単独浄化槽(し尿浄化槽)を廃止し、新たに公共下水道等に接続された世帯に10万円を助成しました。また、65歳以上の高齢者のみの世帯、6人以上の世帯、18歳未満の子どもが3人以上の世帯に対しては、さらに10万円を加算し、20万円を助成しました。(25件)

7 特別会計・事業会計予算の主な事業

=新規事業、=拡充事業 (事業名の頭に標記)

合併処理浄化槽事業(市設置型・個人設置型) (合併処理浄化槽事業特別会計)

戦略3 1億8,976万円
(担当:下水道課 施設整備係、総務管理係)

公共下水道事業・農業集落排水事業が計画されていない区域を対象に、申請に基づく浄化槽の設置を行いました。(市設置型:設置基数141基)

また、公共下水道事業の計画区域内で、下水道が当分の間整備されない区域について、個人が設置する浄化槽に対して設置費を助成しました。(個人設置型:10件)



合併処理浄化槽設置工事の様子

公共下水道未普及解消事業 (下水道事業特別会計)

戦略3

2億6,360万円

【H27年度への繰越額2億2,905万円】

(担当:下水道課施設整備係)

湖沼や水路など自然環境を守り、生活の快適性の向上を目的に、汚水を処理する管路や施設等を整備しました。

〈事業内容〉

下水道管渠布設工事 L=2,321m
舗装本復旧工事 A=4,928㎡
公共ます設置工事 89箇所

医療機器整備事業(病院事業会計)

2億8,743万円

医療の充実とサービス向上を図るため、市立3病院の医療機器の購入を行いました。



更新後の注射薬払出装

医師住宅整備事業(病院事業会計)

戦略7

3,109万円

医師招へいのため、老朽化した医師住宅の建て替えを行い、医師が働きやすい環境を整備しました。



完成した栗駒病院
医師住宅1棟

(担当:医療管理課経営管理係)

医学生修学一時金貸付事業 看護学生修学資金貸付事業

戦略7 (病院事業会計) 870万円

市立病院と診療所への医師招へいを図るため、将来、市立病院、診療所に勤務しようとする医学生に対し、修学一時金貸し付けの募集を行いました。なお、平成26年度は応募がありませんでした。

※貸付者数 平成18年度～平成26年度:16人

市立病院と診療所の看護師確保を図るため、将来、市立病院、診療所に勤務しようとする看護学生に対し、修学資金を貸し付けました。平成26年度は新規2人に貸し付けました。

※貸付者数 平成22年度～平成26年度:17人

(担当:医療管理課総務係)

8 平成25年度からの主な繰越事業

平成25年度で行う事業が年度内に完了することができないなどの理由により、平成26年度に予算を繰越して事業を行いました。

道路整備事業 1億5,189万円 (担当：建設課建設係)

市民の生活を支える基礎となる市道（橋梁）を整備し、安全で快適な道づくりを実施しました。



市道川北花泉線（若柳）

《築館》栗原中央西線
《若柳》新田線、川北花泉線
《栗駒》栗駒駅上町裏線
《鶯沢》辻前遠堀線
《志波姫》御蔵線
《市内一円》市道橋長寿命化対策

公営住宅建設事業 1億1,382万円 (担当：建築住宅課建築係)

耐用年限を超え老朽化した市営住宅を計画的に建替え、総合的な住環境整備を実施しました。

建設 《栗駒》市営八日町住宅
解体 《栗駒》市営上町裏住宅



市営八日町住宅（市営上町裏住宅建替）

消防救急無線デジタル化整備事業 9億1,962万円 (担当：消防本部警防課指令係)

電波法関係審査基準の改正により、消防救急無線をアナログ方式からデジタル方式に移行しました。



栗原指揮隊による無線運用

金成小中一貫校建設事業 2億8,386万円 (担当：学校教育課教育環境推進係)

金成小中一貫校の校庭敷地造成やプレハブ倉庫等の備品を購入したことにより、教育環境の整備が図られました。



金成小中一貫校の校庭

農業用施設災害復旧事業

1億8,312万円 (担当：農村整備課農地整備係)

平成25年7月の大雨で被災した農業用施設190箇所を復旧しました。

【内訳】水路：128箇所
農道：44箇所
ため池：13箇所
機場等：5箇所



堤体が崩れた瀬峰葉沢西ため池



復旧後の瀬峰葉沢西ため池

栗原市民憲章

このまちに生き このまちを愛し このまちを誇りとする私たちは

輝かしい未来を信じ 知恵と力を集め 夢と活力のあるまちをつくりまします

まなぐ

眼 光を見つめ

足 大地を踏んまえ

あした

手 明日をぎっちり押さえ

あ

あ

腹ん中 熱つつぐ熱つつぐ

ひて

額こびに広がる宇宙

あまか

天駈ける駒にまたがり

われらいま風を切って走る

平成26年度

「栗原市のお金の使い道」(栗原市決算概要)

発行 宮城県栗原市 編集 栗原市総務部財政課 財政係

〒987-2293 宮城県栗原市築館薬師一丁目7番1号

TEL 0228-22-1115

FAX 0228-22-0312

E-mail zaisei@kuriharacity.jp



この決算概要に関してお気づきの点がありましたら、気軽に財政課財政係までお寄せください。